



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,952	34.8	200	—	204	—	130	—
2022年3月期第1四半期	1,448	22.7	△23	—	△22	—	△12	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 130百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.28	19.19
2022年3月期第1四半期	△1.80	—

(注) 2022年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株あたり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,945	1,842	62.6
2022年3月期	2,930	1,712	58.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,842百万円 2022年3月期 1,712百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,049	34.7	374	693.6	379	680.6	250	575.7	36.95
通期	8,506	26.8	801	40.5	810	39.8	543	31.2	79.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 (社名) 株式会社ミント

(注) 詳細は、添付書類P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	7,150,000株	2022年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	375,657株	2022年3月期	375,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	6,774,373株	2022年3月期1Q	6,920,690株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立が進んだことから回復基調にあったものの、感染の再拡大や、原材料価格の上昇、急激な為替変動の影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界は、デジタル庁を中心とした行政によるデジタル化推進やビジネス形態としてリモートワーク、クラウド環境の導入、IoT、AI、5G、メタバースなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資を積極的に行う企業の増加などにより中長期的には市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、潜在市場規模が大きくまた参入障壁の高いエンタープライズ系(注1)領域の開拓への注力を継続し、売上規模と利益率の向上に努めております。一方で、顕在化するエンジニア不足に対しては、独自教育ノウハウによる業界未経験者の早期戦力化、高スキル人材の登用および社外人材の有効活用等の対策を行い、順調に受注案件を積み上げております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,952,043千円(前年同期比34.8%増)と堅調に推移し、営業利益は200,303千円(前年同期は23,927千円の営業損失)、経常利益は204,172千円(前年同期は22,445千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は130,628千円(前年同期は12,471千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

#### (注1) エンタープライズ系

企業の業務システムや情報システム、金融機関、病院、鉄道など大規模かつ社会基盤を支える情報システムなどに含まれ、それらの中心となる制御システムの総称

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、金融機関向けを中心としたエンタープライズ系領域の売上高が堅調に推移した他、新規大型再構築案件の上流工程・PMO(注2)・QMO(注3)や、大型マイグレーション(注4)案件への参画も増加しました。また、株式会社ミントを2022年4月より新規連結したことも売上高及びセグメント利益の拡大に貢献しております。その結果、外部顧客に対する売上高は1,773,931千円(前年同期比37.7%増)と堅調に推移しました。増収となったことに加え、従来は上半期に偏重していた人材採用を今期より通年採用方針に変更した影響から、販売費及び一般管理費が売上高の伸びに比して軽微な増加となったこともあり、セグメント利益は201,884千円(同803.5%増)と大幅に増加しました。

#### (注2) PMO (Project Management Office)

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

#### (注3) QMO (Quality Management Office)

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

#### (注4) マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

#### ②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、アプリ開発やリバースエンジニアリングサービス(注5)の売上高が増加したことに加え、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上高も堅調に推移しました。また前年同期に発生し、利益を圧迫した不採算案件への対応として進めた管理体制強化が実を結び、利益率の改善が進んでおります。その結果、外部顧客に対する売上高は174,409千円(前年同期比14.6%増)となり、セグメント利益は16,174千円(前年同期は34,002千円のセグメント損失)となりました。

#### (注5) リバースエンジニアリングサービス

システム操作やソースコードの解読により開発ドキュメント(各種設計書)を作成するサービス

#### ③オフショアサービス事業

フィリピンでの新型コロナウイルス感染症対策に関しては、徐々に規制の撤廃が進み、同国の経済活動の正常化の兆しは見えておりますが、当四半期連結会計期間においても依然大きな影響を与えております。その中で当事業においては、現地日系企業からの引き合いも増加傾向にはありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を完全に払しょくするには至りませんでした。前年同期と比較して現地日系企業との取引規模が縮小したことなどにより、外部顧客に対する売上高は3,702千円(前年同期比53.8%減)、セグメント損失は16千円(前年同期は4,931千円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,994,765千円となり、前連結会計年度末に比べ350,808千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少368,538千円によるものであります。固定資産は950,954千円となり、前連結会計年度末に比べ365,695千円増加いたしました。これは主にのれんの計上による無形固定資産の増加301,405千円、投資その他の資産の増加67,634千円によるものであります。

この結果、総資産は2,945,720千円となり、前連結会計年度末に比べ14,886千円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,050,933千円となり、前連結会計年度末に比べ108,508千円減少いたしました。これは主に買掛金の増加33,491千円、未払法人税等の減少92,532千円、賞与引当金の減少68,055千円によるものであります。固定負債は51,933千円となり、前連結会計年度末に比べ6,539千円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,102,867千円となり、前連結会計年度末に比べ115,048千円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,842,852千円となり、前連結会計年度末に比べ129,935千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益130,628千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.6%（前連結会計年度末は58.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日（2022年8月10日）に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,356,533	987,994
受取手形、売掛金及び契約資産	911,131	908,530
電子記録債権	8,194	8,009
その他	69,714	90,230
流動資産合計	2,345,573	1,994,765
固定資産		
有形固定資産	89,460	86,115
無形固定資産		
のれん	64,077	369,455
その他	133,268	129,296
無形固定資産合計	197,346	498,751
投資その他の資産		
繰延税金資産	156,187	125,104
その他	142,265	240,982
投資その他の資産合計	298,452	366,086
固定資産合計	585,259	950,954
資産合計	2,930,833	2,945,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	175,606	209,098
短期借入金	120,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	21,948	21,948
未払金	387,421	392,116
未払法人税等	126,356	33,824
賞与引当金	143,608	75,552
その他	184,502	203,394
流動負債合計	1,159,442	1,050,933
固定負債		
長期借入金	54,747	49,260
退職給付に係る負債	60	72
その他	3,666	2,601
固定負債合計	58,473	51,933
負債合計	1,217,916	1,102,867
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	760,431	760,431
利益剰余金	1,067,995	1,198,624
自己株式	△205,097	△205,165
株主資本合計	1,713,329	1,843,890
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△412	△1,038
その他の包括利益累計額合計	△412	△1,038
純資産合計	1,712,917	1,842,852
負債純資産合計	2,930,833	2,945,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,448,385	1,952,043
売上原価	1,159,423	1,404,832
売上総利益	288,961	547,211
販売費及び一般管理費	312,889	346,907
営業利益又は営業損失(△)	△23,927	200,303
営業外収益		
受取利息	1	3
助成金収入	1,636	1,139
為替差益	153	2,734
その他	141	405
営業外収益合計	1,932	4,283
営業外費用		
支払利息	450	414
営業外費用合計	450	414
経常利益又は経常損失(△)	△22,445	204,172
特別損失		
固定資産除却損	—	1,092
特別損失合計	—	1,092
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,445	203,079
法人税、住民税及び事業税	1,887	33,846
法人税等調整額	△11,861	38,604
法人税等合計	△9,974	72,451
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,471	130,628
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,471	130,628

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,471	130,628
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	29	△625
その他の包括利益合計	29	△625
四半期包括利益	△12,442	130,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,442	130,003
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ミントの株式の全てを取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、株式会社ミントは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,288,160	152,214	8,010	1,448,385	—	1,448,385
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,847	31,561	15,304	55,714	△55,714	—
計	1,297,008	183,776	23,315	1,504,099	△55,714	1,448,385
セグメント利益又は損失 (△)	22,344	△34,002	4,931	△6,725	△17,201	△23,927

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△17,201千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△311千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,890千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,773,931	174,409	3,702	1,952,043	—	1,952,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,094	48,839	13,723	65,658	△65,658	—
計	1,777,026	223,249	17,426	2,017,701	△65,658	1,952,043
セグメント利益又は損失 (△)	201,884	16,174	△16	218,042	△17,738	200,303

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△17,738千円は、セグメント間未実現利益の調整額等1,401千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△19,140千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ミントの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第1四半期連結累計期間においてソフトウェアテストサービスセグメントののれんが306,564千円増加しております。

## (重要な後発事象)

## (譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2022年6月27日開催の取締役会において、当社の取締役及び当社の従業員並びに当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式の処分を行うことを決議し、2022年7月26日に払込手続きが完了いたしました。

## 1. 処分の目的及び理由

当社は、2020年5月29日開催の取締役会において、当社の取締役に対して当社の中長期的な企業価値及び株主価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆さまと一層の価値共有を進めることを目的として、当社の取締役を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議し、また、2020年6月30日開催の第16期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式の付与に係る現物出資財産として、既存の金銭報酬枠の範囲で、当社の取締役に対して年額30百万円以内の金銭報酬債権を支給すること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間として3年間から5年間までの間で当社の取締役会が定める期間とすることにつき、ご承認をいただいております。

また、当社は、2022年6月16日開催の取締役会において、当社の従業員並びに当社子会社の従業員のうち、当社の取締役会が定めた基準を満たす正社員（入社年次を問いません。）に対し、譲渡制限付株式を継続的に付与していくことにより、モチベーションの向上を図り、かつ、当社株式を所有することで経営参画意識を高め、株主の皆さまと一層の価値共有を進めることで、中長期的な企業価値の向上につなげることを目的として、本制度の導入を決議いたしました。

## 2. 処分の概要

(1) 払込期日	2022年7月26日
(2) 処分する株式の種類及び株式数	当社普通株式 24,156株
(3) 処分価額	1株につき1,699円
(4) 処分価額の総額	41,041,044円
(5) 割当予定先	取締役（社外取締役を除く） 4名 2,356株 当社の従業員 65名 18,800株 当社の子会社の従業員 17名 3,000株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。